

前項志願者ニシテ適當ト認メタルトキハ技能試験ノ上合格シタル者ニ限り採用ス

第十條 志願書記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ届出ヘシ

第三章 就業

第十一條 就業定時間ヲ午前七時三十分ヨリ午後四時迄トス但シ午前七時十五分迄ニ入場スルコトヲ要ス

仕事ノ都合ニ依リ早出、残業、臨時呼出等定時間外ノ就業若クハ

休日ニ就業ヲ命シ又ハ定時間内ニ早引退場セシムルコトアルヘシ

第十二條 休憩時間ハ正午ヨリ午後零時三十分迄トス

定時間後ノ就業三時間以上ヲ要スルトキハ午後六時後ト午後十二時後ニ於テ各二十分間ノ休憩時間ヲ與フ

第十三條 入場ノ終刻並ニ就業定時間及休憩時間ノ各終始ハ汽笛ヲ以テ之ヲ報知ス

第十四條 入場時刻ニ遅レタル者ハ入場スルコトヲ得ス但シ十五分以内ノ遅刻者ハ日給ノ一割ヲ減額シテ入場セシムルコトアルヘシ

第十五條 入場シタルトキハ各自勤工表ヲ係員ニ提出シ退場スルトキハ係員ヨリ勤工表ヲ受領スヘシ

前項ノ遅刻者ハ當日欠勤シタル者ト看做ス

第十六條 就業始刻又ハ休憩終刻ノ報知アリタルトキハ直ニ仕事ニ着手シ就業終刻ノ報知アリタルトキハ器具機械等ノ整理ヲ爲シタルキハ係員ヨリ勤工表ヲ受領スヘシ

第十七條 食事ハ入場ノ終刻並ニ就業定時間及休憩時間ノ各終始ハ汽笛ヲ不都合ノ行為アルヘカラス

第十八條 就業中ハ當該技師又ハ其ノ代理者ノ許可ヲ得ルニアラサレハ外來人ト面談スルコトヲ得ス

第十九條 食事ハ入場ノ終刻並ニ就業定時間及休憩時間ノ各終始ハ汽笛ヲ不都合ノ行為アルヘシ

第二十條 就業中ハ當該技師又ハ其ノ代理者ノ許可ヲ得ルニアラサレハ外來人ト面談スルコトヲ得ス

第二十一條 病氣又ハ事故ニ依リ仕事中途ニテ退場セムトスルトキハ職長又ハ組長ヲ經テ當該技師又ハ其ノ代理者ヨリ退場券ノ交付ヲ受ケ係員ヨリ勤工表ヲ受領シ之ヲ巡視ニ示シ退出スヘシ

第二十二條 構外ニ物品ヲ搬出スルトキハ當該技師又ハ其ノ代理者ヨリ持出證ヲ受領シ之ヲ巡視ニ提出シ點檢ヲ受クヘシ

第二十三條 缺勤シタル者ハ其ノ理由ヲシテ遅滞ナク届出ヘン

第二十四條 休日ハ左ノ通りトス但仕事ノ都合ニ依リ増減變更スルコトアルヘシ

第一、紀元節、神武天皇祭、天長節祝日

一、年末年始(日數ハ毎年之ヲ定ム)

第二十五條 貨金ハ日給トシ就業定時間ヲ以テ一日トス
第二十六條 工事ノ種類ニ依リ諸負及其他適當ノ獎勵方法ニ依ル貨金ヲ以テ就業セシムルコトアルヘシ
第二十七條 定時間外ノ就業若クハ定時間ニ満タナル就業ノ貨金ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル
第二十八條 日給ハ毎年一回十月ニ於テ詮衡ノ上、昇給セシム但特別ノモノハ臨時選拔昇給ヲ行フコトアルヘシ

第二十九條 貨金ハ毎月二回十四日及末日ニ於テ其ノ前四日迄ノ分
ヲ支拂フ但シ圓以下ヲ次回ニ繰越シテ支拂フコトアルヘシ
前項支拂日ヲ都合ニ依リ變更スルトキハ豫メ之ヲ揭示ス
中途退職又ハ解雇ノ場合ト雖モ支拂ハ前記ノ期日ヲ適用ス

第三十條 貨金ヲ受領シタルモノハ係員ノ面前ニ於テ之ヲ點檢スヘシ、後ニ至リ不足等申出アルモ理由ノ如何ニ拘ラス當所ハ其ノ賃ヲ負ハス
第三十二條 貨金額收ニ用ユル印鑑ハ當所所定ノ形狀(縦六分横三分角形ノ氏名印)ノモノヲ使用スヘシ
第三十三條 新ニ雇入レタル者十日以内ニ退職シタルトキハ日給トス

一、上司ノ指圖ニ服從セナルモノ
二、工事上ニ付キ外來人ト直接應答シタルモノ又恣ニ仕事ヲ爲シ或ハ仕事上ノ失錯ヲ隠蔽シタルモノ

三、工事上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊カニ仕事先ヨリ金錢物品ノ贈與ヲ受ケタルモノ

四、猥リニ他ノ工事場ニ立チ入りタルモノ或ハ就業時間中又ハ禁止場所ニ於テ喫煙シタルモノ

五、諸建設物器機械及材料ノ取扱ヲ粗畧ニシ又ハ濫用シ若クハ毀損紛失シタルモノ或ハ竊カニ工場ノ物品ヲ構外ニ搬出シ又ハ搬出セントシタルモノ

六、酩酊シテ入場シ又ハ就業中飲酒、飲食、雜談、放歌、喧嘩、口論、集合、其他工場ノ秩序ヲ紊シ風紀ヲ害シタルモノ

七、勤工表若クハ通鑑ヲ變改シ又ハ之ヲ他人ニ托シ或ハ他人ヨリ托ナレテ其取扱ヲ爲シタル者並ニ所定ノ徽章ヲ貸借シタルモノ

八、私品ヲ製造シ又ハ製造セシタルモノ、許可ヲ得シテ作業上必要ナラナル私有品ヲ工場ニ搬入シタルモノ

九、竊カニ構外ニ出テ又ハ所定通用門ニ依ラス他ヨリ出入シタルモノ、食事等ノ爲外出シタルモノ

十、在職ノ儘他ノ工場ニ勤務シタルモノ及當所ニ對シ氏名、年齢原籍、住所、履歷、身分、其他ヲ詐稱シタルモノ

十一、出勤當ナラサル者、業務不熱心ナルモノ及品行不良ナルモノ、食事等ノ爲外出シタルモノ

十二、許可ナクシテ廣告其他ノ書類、印刷物等ヲ工場内ニ於テ配布又ハ貼付シ若クハ落書ヲ爲シタルモノ

十三、罷業、怠業ヲ爲シ若クハ之ヲ煽動シタルモノ

十四、犯罪ノ行爲アリタルモノ

十五、以上ノ外本則ニ背違シタルモノ

十六、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

十七、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年以上上ノ者ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ日給壹日分ヲ加算ス

但シ大正參年九月拾貳日以前ニ溯ラス

以上ノ給與ハ臨時雇及任意退職者ヲ含マス

十八、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

十九、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年以上上ノ者ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ日給壹日分ヲ加算ス

但シ大正參年九月拾貳日以前ニ溯ラス

以上ノ給與ハ臨時雇及任意退職者ヲ含マス

二十、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿一、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年以上上ノ者ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ日給壹日分ヲ加算ス

但シ大正參年九月拾貳日以前ニ溯ラス

廿二、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿三、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年以上上ノ者ハ一ヶ月ヲ増ス毎ニ日給壹日分ヲ加算ス

但シ大正參年九月拾貳日以前ニ溯ラス

廿四、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿五、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿六、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿七、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿八、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

廿九、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

三十、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅一、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅二、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅三、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅四、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅五、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅六、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅七、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅八、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

卅九、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十一、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十二、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十三、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十四、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十五、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十六、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

四十七、常雇職工ニシテ雇入後一ヶ年未滿ノ者、日給貳拾日分明書又ハ診斷書ヲ提出シ期間ノ延長ヲ願出デタルモノハ此ノ限りニアラス

第九章 扶助

扶助

扶助

扶助